

浜田ダムだより

第 6 号
平成20年2月

浜田ダム管理所

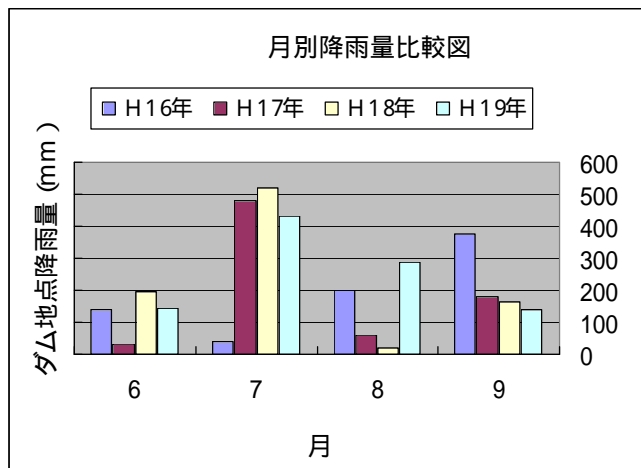
平成 19年洪水期の実績

浜田ダムでは、1年間のうち6月 16日～9月 30日を洪水期、10月 1日～6月 15日を非洪水期と区分して管理を行っています。洪水期には梅雨前線や台風が原因で大雨・長雨が降ることが多く、浜田ダムから放流を行うのはほとんどがこの洪水期です。過去、浜田に大きな災害をもたらした昭和 58年・昭和 63年豪雨もこの洪水期における出来事です。

そこで近年の洪水期における降雨および放流実績を下にまとめました。

降 雨 実 績

昨年、隠岐ノ島では大雨により大きな災害が起こりました。下表のとおり、浜田においても最近 4年間の中では昨年の最も総雨量が多かったものの、数日にわたり断続的に降り続くような雨が少なかったため大きな災害が起こるようなことはありませんでした。



	洪水期総雨量 (浜田ダム地点での観測値)
H16	759mm
H17	754mm
H18	900mm
H19	1008mm

放 流 実 績

下表に示したとおり、近年洪水期には毎年 2～3回程度の放流を行っています。特に事故もなく安全に放流が行えたのは、ダム下流域にお住まいの方々や河川利用者のみなさんのご協力があったからこそです。今後も適切に管理してまいりますので更なるご理解とご協力をお願いします。

放流年	放流日	最大放流量(m ³ /s)	総雨量(mm)
H16	9/7～9/8	20.32	72
	9/23～9/24	19.46	79
	9/27～9/30	31.98	105
H17	7/3～7/5	26.66	228
	7/13～7/14	10.48	25
H18	7/4～7/6	9.44	28
	7/10～7/11	8.14	1
	7/17～7/22	87.77	281
H19	7/2～7/4	46.36	178
	7/15～7/17	31.62	139
	8/3	29.34	105



総雨量は浜田ダム地点での観測値です

浜田ダム見学会開催

昨年10月、周布小学校の4年生児童51名と引率の先生3名の計54名が浜田ダム見学にこられました。当日は天候にも恵まれたため屋外で説明を行い、普段は職員しか出入りできないような施設も見学してもらうことができました。

児童のみなさんから様々な質問が飛び出し、ダムの役割を理解していただけたとともに、ダムに興味をもってもらうことができたと思います。



ダム湖にアオコ発生！

昨年9月中旬から12月初旬にかけ、浜田ダム湖（愛称：桜湖）においてアオコが発生しました。

右の写真は昨年10月、アオコが最も顕著に現れていたときのものです。ダムのそばの黄緑色に見える部分がアオコです。

発生したアオコの正体は大量発生した植物プランクトンで、臭気や魚の死骸等は確認されず、周辺への影響は一切ありませんでした。

発生原因としては、平年と比べて平均気温が高かったことと、やはり湖という性質上、川のように水の流れがないため、よどんだ状態となり水質が悪化したことが考えられます。

過去にも同時期に数回発生した事例があるため、今後もダム湖の水質には十分注意を払い、管理してまいります。



編集後記

浜田ダムだより第6号を発行しました。今号は昨年浜田ダムで起こった出来事を掲載しました。浜田ダムに関する疑問、質問や本誌に関する御意見、御要望等ありましたらお気軽にお問い合わせ下さい。本誌は浜田県土整備事務所のホームページにも掲載しています（PDF形式）。バックナンバーも掲載していますので是非ご覧下さい。

お問い合わせ先：浜田ダム管理所 TEL :0855-22-0136 FAX :0855-22-5176

本誌担当：高野

浜田県土整備事務所URL：http://www.pref.shimane.lg.jp/hamada_kendo/

（本誌バックナンバーは浜田県土整備事務所トップ 事業紹介 各ダムのコーナーへ）